

令和4年度

くにみ保育園「自己評価」結果について

【自己評価の内容】

大きな項目は、下記の5項目です。

「◎：できている ○：ほぼできている △：努力が必要」の3段階で評価しました。

<保育所保育指針>

1 第1章 総則

・保育所保育に関する基本原則 ・保育理念や目標の理解 ・保育の計画及び評価

等に関する21の観点

2 第2章 保育の内容

・乳児保育に関わるねらい及び内容 ・1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容
・3歳以上児の保育に関するねらい及び内容 ・小学校との連携

等に関する46の観点

3 第3章 健康及び安全

・子どもの健康支援 ・食育の推進 ・環境及び衛生管理並びに安全管理 ・災害への備え

等に関する14の観点

◎食事の提供

・栄養計画と食事計画 ・調理、提供 ・食事 ・食育の評価、改善 ・衛生管理
・食物アレルギー児、障害のある子どもに対する個別対応

等に関する61の観点

4 第4章 子育て支援

・保育所を利用している保護者に対する子育て支援 ・地域に開かれた子育て支援

等に関する7の観点

5 第5章 職員の資質向上

・職員の資質向上に関する基本的事項 ・職員の研修等 ・保育所としての社会責任の理解、
職員としての心構え

等に関する12の観点

◇自己評価結果の概要

◎：できている ○：ほぼできている △：努力が必要

項 目	観点を平均した割合 (%)				
1 第1章 総則	◎	86%	○	12%	△ 2%
評価（改善策）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所保育指針の内容に準じた保育に心掛けている。今後も読み返す機会を増やし、日頃から活用する意識を持てるように研修等に取り入れていきたい。 ・ 子どもの発達について理解し、一人一人の発達過程に応じて保育する環境を整えていき、同じ方向性を持って保育を進めていきたい。 				
2 第2章 保育の内容	◎	76%	○	21%	△ 3%
評価（改善策）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの好奇心や探究心を大切にし、一緒に取り組んでいけるような環境作りや年齢に合った援助の工夫に努めていきたい。 ・ 一人一人の発達を捉えた関わりをする中で、子どもが安心して生活できる寄り添った保育を心掛けたい。 ・ 職員間でアイデアを出し合い、より良い保育に努めた。また、役割分担をし、協力し合いながら、保育を進めている。 				
3 第3章 健康及び安全	◎	93%	○	7%	△ 0%
評価（改善策）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症対策として、3歳以上児のマスク着用、手洗い、うがい、消毒、換気をこまめに行い、感染予防に努めた。 ・ 食事では、パーティションを使用し飛沫感染予防をした。 ・ 食事、午睡の場所を固定し、午睡時は頭の向きを交互にした。また、感染症が発生した時には速やかにマチコミメールにて家庭に知らせた。 ・ 防災マニュアルを基に、非常時に備え、備蓄品や非常食等を確認する。 ・ 事故を未然に防ぐ為、危険な場所やヒヤリハットを確認し、環境の見直しに努めた。 ・ 重大事故を防ぐ為、職員間での声掛け、見守りをしっかりしてきた。夏場は、暑さ指数計を活用し、熱中症予防に努めた。 ・ 2歳以上児は水筒を持参してもらい、こまめに水分補給ができるようにした。0,1歳児は保育士が一人一人の様子に応じて、水分補給を行った。 ・ 保育士の虐待が問題となっている今、子ども達との向き合い方や自分の言動を見直す機会となった。また虐待に関しての研修をしたり、保護者へも園での取り組みを発信したりした。 				

◎ 食事の提供	◎	64%	○	35%	△	1%
評価（改善策）	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の成長に合わせた食事が提供できるように、「食事調査票」を保護者に記入してもらい、個別に対応していった。職員間でも情報を共有し進めていくことができた。 ・子ども達の好きなメニューを取り入れたり、職員間で給食検討を行ったりすることで、食事への期待が持てるように努めた。 ・アレルギー児や食事の悩みを抱えている保護者と面談を行い、安心して食事が進められるようにした。 ・畑の収穫した野菜を使用したり、季節の食材を取り入れたりすることで、食への関心が持てるようにした。 					
4 第4章 子育て支援	◎	71%	○	29%	△	0%
評価（改善策）	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や職員間でマチコミメールを活用し、情報共有することができた。 ・個人面談があったことで、保護者とじっくり話すことができ良かった。 ・園日より、クラス日より、ホームページ等で子どもの様子を知らせる他に、クラス毎の写真販売を行ったことで、より園での様子を知らせることができた。 ・10月より登降園システムを使用したことで、送迎時の負担を軽減することができた。 					
5 第5章 職員の資質向上	◎	72%	○	25%	△	3%
評価（改善策）	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの行動や言動について、会議の場以外でも話す機会を持つことで、保育の振り返りや職員間のコミュニケーションを図る場に繋がる為、短時間でも設けるようにしていきたい。 ・オンライン研修等を積極的に活用し、専門性の向上に努めた。 ・子ども達が楽しめる企画を検討し、園全体で取り組みを進めた。 (夏まつりごっこ、ハロウィン、くにみ図書館、豆まき会、ひなまつり等) 					

◇今後の取り組み

- ・個人面談を継続し、保護者の不安や悩みに寄り添えるようにしていきたい。
- ・今後も感染症対策を行いながら、園での様子を間近で見れるような行事等を取り入れ、子どもの成長を一緒に喜び合えるようにしたい。
- ・職員間での話し合いの場を大切にしていきたい。
- ・子ども達が楽しめるようなメニューを提供できるように、季節の食材を見たり触れたり、メニューの検討をしていきたい。